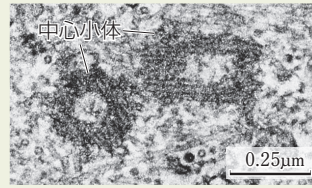
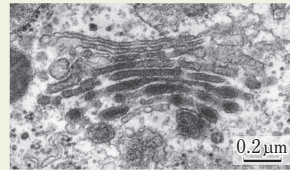


●**中心体**● 光学顕微鏡で観察すると、中心小体は粒状に見え、それを取り囲むように不定形の部分が見える。それらを合わせて**中心体**という。動物では、細胞分裂の際の染色体の移動にかかわる。べん毛・^{せんもう}繊毛の形成にも関係する。植物では、コケ植物やシダ植物などの精子をつくる細胞だけに見られる。

●**ゴルジ体**● ^{へんぺい}扁平な袋を重ねた形の膜からなる。その一部から小胞が形成され、細胞外に分泌されるタンパク質が貯蔵される。分泌が盛んな細胞では**ゴルジ体**が発達している。植物細胞では小さくて光学顕微鏡では見えにくい。



▲図 c 中心小体の電子顕微鏡写真



▲図 d ゴルジ体の電子顕微鏡写真

